平成30年
夏号

ふくしまで働く

避難している方・福島で働きたい方へ

☎024(529)5438
福島労働局
職業対策課発行

「ふくしまで働く」は福島県内外に避難されている皆様や福島で働きたいと思っている方々に対して、就労、雇用の視点から福島県内外の支援策や求人情報等を発信するために厚生労働省福島労働局が発行している広報紙です。

福島県雇用情勢（平成30年4月）

有効求人倍率（受理地別）　1.53倍（全国27位）
（就業地別）　1.70倍（全国21位）

求人数は復興需要のピークアウトの影響はあるが、多くの業種で人手不足の状況が継続しているため高水準を維持し、仕事が探しやすい状況にあります。個別の求人は、全国のハローワーク、インターネットで検索ができます。

※有効求人倍率／ハローワークで仕事を探す人1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。1を上回っていれば、仕事を探す人より仕事の数が多いことになります。

特集

- 被災自治体首長からのメッセージ
- 震災後のわが社「特別養護老人ホームリリー園」

復興にかける想い・避難されている方へのメッセージ

川俣町

佐藤金正 町長

川俣町は昨年3月31日に山木屋地区の避難指示が解除され、1年2か月が経過したところです。本年5月1日現在の山木屋地区の居住者数は、139世帯319人となっており山木屋地区に住民票のある方で率に換算すると、世帯数45.6%、人数34.6%という状況となっております。復興と町政の発展を願い、昨年2月末に町長の職を拝命してから、あっと言う間に1年3か月という月日が経ち、2度目の事業年度を迎えました。この間、町民の皆様をはじめ復興に携わる各方面の方々からの、早期復興実現への大きな期待に重責を実感するとともに、皆様のお力添えのもと一歩一歩でありますが確実に前に進めるため全力で取り組んでまいりました。

帰還者の買物環境等の利便性を図るため、昨年7月に復興拠点商業施設「とんやの郷」を安倍総理大臣や吉野復興大臣、内堀県知事をはじめ関係する皆様方の出席のもとオープンし、本年2月には利用者が5万人を超えるなど、交流人口の増加による活気を感じています。さらには、一部通行が制限されていた国道114号線が自由通行となったことで、中通りと浜通りを結ぶ交流が再開され、更なる賑わいづくりに期待しています。また、町の無形文化財の「山木屋八坂神社三匹獅子舞」が7年ぶりに復活されるなど、復興からの発展を目指す町にとって、未来へ向けた第一歩を踏み出したところですが、復興は未だ道半ばと感じているところです。

町は、山木屋地区の除染後の農地活用と保全管理を目的にした粗飼料生産流通拠点施設整備事業や、近畿大学と連携し栽培を進めているアンスリウムのブランド化に向けた支援などに加え、生活に密接に関係する国道114号線の大規模な改良工事が着工されるなど、未来を見据えた川俣町の新しい形の実現に尽力しております。また、新たに子育てほっとステーションの開設や出産祝金の増額など、町の未来を担う子どもたちの健やかな育成につながる取り組みにも力を入れております。

しかしながら、少子・高齢化の急激な進行や若者の流出に伴う働き手不足の深刻化など、町を取り巻く環境は年々厳しさを増す状況にあるところです。今後はこれまで以上の各種復興施策の強化に加え、少子・高齢化への対応、子育て支援の充実、町の未来を担う人づくりなどに取り組み、豊かで光輝く故郷を取り戻すとともに、住民本位の行政の実現をめざし、一歩一歩、前進してまいる所存でありますので、皆様のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

川内村

遠藤雄幸 村長

田舎の原風景を残す川内村は、震災・原発事故以来「被災地」と呼ばれる地域となりました。住民は避難を余儀なくされ不安な生活を経験し、先行きが見えない中、漠然とした喪失感と閉塞感で心身ともに極度のストレスを感じてきました。さらに見えない放射能は、戻る人・戻らない人、20キロラインを境に補償・賠償問題で住民感情も複雑にし、人の生き方や判断にもズケズケと土足で入り込み、住民の心も体もズタズタにしていきました。

それでもかけがえのない「ふるさと」を取り戻すため、見えない敵と戦い続けてきました。平成28年6月に一部残っていた旧居住制限区域が解除され、村の避難指示区域は全てなくなりましたが、解除されたからといってダイナミックに変わるものではなく、あらためて戻るオペレーションの難しさを感じています。

全ての地域において生活上の制限がなくなり、震災前の極めて当たり前の生活、いとおしい日常、村のアイデンティティを取り戻す、その一歩を帰村宣言以来前に進めてきました。では、この7年余りの時間は失われた時間だったのかというと、そうではないと思っています。自分の故郷や家族、隣人友人のあり様、行政と住民との関係、人間としての尊厳について、思いを深める貴重な時間だったのかもしれません。

現在の帰村者は81%、約2,200名。この数字は川内村にとって本来25年以上先の推定人口であり、一気に20年後の未来を目の前に突きつけられていることになります。加えて、子どもを持つ世帯など若い世帯が避難先に定着しつつあり、帰還した多くの世帯は高齢者が多く、人口減少と併せ少子高齢化が一気に進んでいます。併せて経済的にも、復興の反動減が懸念されます。

川内村の未来は自分たちでコントロールするもの、8年目を迎えた今、可能性を信じ新たな気持ちで一歩を踏み出していきたいと考えています。復興は一言で言うならば、生きがいやプライドを取り戻すこと、いつまでも被害者意識だけでは問題の解決になりません。被災地という不幸に甘んじることなく、一日も早く「被災地」からの脱却を図り、嘆かず、腐らず、恨まず、愚痴をこぼさず、ひたすら前向きに明るく、新しい川内村を創造していきたいと考えています。

福島雇用促進支援事業

福島広域雇用促進支援協議会とは

東日本大震災からの復興の一環として、雇用対策・就職支援の面から福島を支えていくために、福島県、被災12市町村、経済団体等で構成する団体で、平成25年度から福島労働局の福島雇用促進支援事業を受託しています。

福島県と被災12市町村を主な会員とする**福島広域雇用促進支援協議会**が福島労働局からの委託を受けて避難者の帰還就労のために様々な事業を実施しております。

福島市　二本松市
郡山市　新地町
いわき市
相馬市

田村市　広野町　川内村　浪江町
南相馬市　楢葉町　大熊町　葛尾村
川俣町　富岡町　双葉町　飯舘村
福島県

福島県商工会連合会
福島県商工会議所連合会
福島県中小企業団体中央会
福島県相双地方振興局

船引町商工会　広野町商工会
常葉町商工会　楢葉町商工会
都路町商工会　富岡町商工会
大越町商工会　川内村商工会
滝根町商工会　大熊町商工会
原町商工会議所　双葉町商工会
鹿島商工会　浪江町商工会
小高商工会　葛尾村商工会
川俣町商工会　飯舘村商工会

就職への道!!

福島県　（男性）

Step 1 職場体験・大人のインターンシップ （6月）

働いた経験がなく、不採用が続き、働くことに不安があることをハローワークの窓口で相談しましたところ、『職場体験・大人のインターンシップ』を紹介されました。家族介護の経験を活かせる仕事に就きたかったので、介護職で体験をしました。利用者さんの状況を見ながら行動する職員の姿に驚き、その質の高い仕事ぶりから、「もっと考えながら行動しないといけない」と意識が高まりました。

Step 2 コミュニケーション能力講座 （11月）

どのようにコミュニケーションをとったらいいのかわからなかったので、『コミュニケーション能力講座』を受講しました。話すことが苦手だと思っていましたが、自己紹介をした時に、スラスラと言葉が出てきました。「こんなにも積極的に話せる自分がいたのか」と驚き、「できるじゃないか」という自信に繋がりました。

Step 3 就職相談 （12月）

就職活動の進め方がわからず悩んでいたので、『就職相談』に申し込みました。相談の中で、「どの事業所に応募したら良いのか」という悩みや、早く就職したい気持ちを話しました。そして、就職するまでの具体的なスケジュールを決めていきました。相談したことで、目標が明確になり就職活動の第一歩を踏み出す勇気が持てました。

Step 4 自分再発見セミナー・合同就職面接会 （1月）

『自分再発見セミナー』では、より深く自分のことを知る機会になりました。「就職活動に長所を活かそう」という気持ちになり、『合同就職面接会』に参加しました。企業プレゼンを聞き、気になる介護の事業所へ話を聞きに行きました。ブースを訪問したことで、「介護職に就きたい」という気持ちを直接伝えることができました。

Step 5 応募⇒就職

協議会のイベントに参加して一歩前へ進めた気がします。自然と自信が湧いてきて、採用面接に挑めました。その結果、初めて就職することができました。

今後への意気込み

実際に働いてみて、楽しいことばかりではありません。しかし、利用者さんに“ありがとう”と声をかけてもらえると、「介護職に就いてよかったな」と思います。職場では、『コミュニケーション能力講座』で学んだスキルを活かしながら接しています。日々の経験を自信にしていきたいです。

就職を目指す方へのメッセージ

なかなか就職が決まらなくても、諦めずに挑戦して下さい。くじけそうになった時こそ、今の自分と向き合って、努力し続けることで、就職に結びつくと思います。就職活動で身につけたスキルは、就職した後でも活かせるので、今の時間を大切に頑張って下さい。

就職相談

福島県内への就職相談はコチラへ！

電話で相談　平日　9:00～12:00・13:00～16:30
専用フリーダイヤル　**0120-810-650**

窓口で相談　**事前のご予約が必要です**
ご予約は0120-810-650（フリーダイヤル）
福島統括窓口
福島市中町4-20 みんゆうビル2F　Pあり
平日　9:00～12:00・13:00～16:00

出張窓口相談　県内各地で随時開催中!!
詳しくはホームページまたはフリーダイヤルでお問合せください。

メールで相談　**24時間受付** 専用メールフォーム
働きたいネット 就職相談　検索　スマホからも

職場体験実習事業

～大人のインターンシップはいかがですか？～

こんな方にオススメ！
- ☑ 就職活動に一歩が踏み出せず不安
- ☑ 未経験の職種にチャレンジしてみたいけど自分に合うかわからない…

- 福島県内430以上の登録事業所の中から選べます
- 実習期間　1日から3日　1日だけ・見学だけもOK！
- 雇用保険受給者には参加証明書を発行！
- **参加無料!!今すぐアクセス!!** ➡

福島県内外（相双地方除く）にお住まいの方へ
福島県相双地方交通費等助成事業と提携しております。相双地域で就職を希望する方に、交通費と、宿泊費の助成をしております。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先等

福島広域雇用促進支援協議会　福島統括窓口
TEL:024(524)2121　FAX:024(524)2125
田村窓口　0247(61)5585　南相馬窓口　0244(26)7690
広野窓口　0240(23)5586　楢葉窓口　0240(23)6290

働きたいネット　検索　ホームページアドレス https://fkkoyou.net/
https://facebook.com/fkkoyou/
facebook「いいね！」をポチ！　いいね！

震災後のわが社　～復興に向けた思い～

社会福祉法人　広葉会
特別養護老人ホームリリー園

【事業所紹介】

所在地：福島県双葉郡楢葉町　　**事業内容：**老人福祉・介護事業

当リリー園は高齢者の方に利用していただける、楢葉・広野両町が出資した社会福祉法人「広葉会」が運営しております。

福島県浜通りの中央に位置し、温暖な気候の地で、昔を偲ばせる旧城跡・天神原遺跡岬公園を望み、東には太平洋を一望できる素晴らしい眺望の地に恵まれた自然環境のなかで、交流を図り安定した生活ができ、入所定員80名・ショートスティ10名で介護職員他職員は約60名おり「特別養護老人ホームリリー園」の事業をしておりました。

平成23年3月11日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、5年間休業しておりました。避難中入所者の皆さんやご家族の皆さんから、「ぜひ故郷楢葉で暮らしたい」との帰町要望が強くありましたので、約2年にわたり再開の準備をしてまいりましたが、関係者の御協力を得てようやく、平成28年3月30日に業務再開式を挙行し、翌月4月12日より入所者様の受け入れを開始しました。当初、入所定員24名での縮小再開でしたが、再開時介護職員が8名と少ないこともあり、配置人員からその半数しか受け入ることができませんでした。

待機者を早期に受け入れたいため、ハローワークの求人や就職フェアーに積極的に参加するなど継続的に募集活動を行ってきたところ、これまでの間、県内外から20名の多くの皆さんに入職していただきお世話いただいておりますので、本当にありがたく心より感謝申し上げます。

平成30年3月、現在では入所者様は35名、介護職員は17名ですが、今後、入所定員を44名・ショートスティ4名のご利用を目標に頑張っているところです。

最近の動向では、平成30年3月で町民が利用する仮設住宅等の供与期限が終了したことから、帰還住民が増加するとともに、入所希望者の増加が見込まれることやショートスティのご利用も増加傾向にあります。やはり生まれ育ったこの「楢葉町に帰ってきたい」という住民の皆様の声がありますので、施設に入所することができず、待機しておられる高齢者の方々がたくさんいらっしゃいます。地域の老人ホームとして受け入れ体制を整えることが当施設の大きな役割であると考えております。

それには介護スタッフが必要です。相双地域では特に福祉の人材が不足していますが、今春、地元の高校で福祉の分野を学習し、卒業して当施設に入社した新卒者がおり、まずは介護職員初任者として経験を積みながら介護福祉士を目指しています。福祉の仕事を志し、入社しました。地域社会のため、当施設では現在の入所対応可能人数を倍増すべく、介護職員を広く募集しております。

「資格があっても経験がない方」「経験はあるけど自信がない方」など様々なご事情があると思いますが、新人職員に対しては「新人教育」を行い、サポート致しますのでご安心ください。

当施設への応募の前に、「楢葉の特養リリー園はどんな所か　行ってみたい！見てみたい！」そういう思いの方はまずは仕事の話を聞いて、「見学だけでも大歓迎」です。

事前に御電話下さい。(0240－25－1777)

お気軽に見学や面談され、不安を解消して働いていただけるようにしっかりとご説明させていただきたいと思っております。

自然豊かなこの地で、地域や社会に貢献したいという温かい心を持った方のご応募をお待ちしております。

ハローワーク仙台に「福島就職支援コーナー」が設置されました。

都府県	名　　称	住　　所	TEL
宮城県	ハローワーク仙台	仙台市宮城野区榴岡4-2-3　仙台ＭＴビル4F	022(299)8811
山形県	ハローワーク山形	山形市桧町2-6-13	023(684)1521
	ハローワーク米沢	米沢市金池3-1-39　米沢地方合同庁舎内	0238(22)8155
埼玉県	ハローワーク行田	行田市長野943	048(556)3151
東京都	ハローワーク品川	港区芝5-35-3	03(5419)8609
新潟県	ハローワーク新潟　ときめきしごと館	新潟市中央区弁天2-2-18　新潟KSビル1F	025(240)4510
	ハローワーク柏崎　まちなか相談室	柏崎市東本町1丁目15-5　フォンジェ SC棟地下1F	0257(24)0810
大阪府	ハローワークプラザ難波	大阪市中央区難波2-2-3　御堂筋グランドビル4F	06(6214)9200

＜「福島就職支援コーナー」設置ハローワーク連絡先＞

HelloWork Internet Service

ハローワークインターネットサービス

求人情報検索

ホームページアドレス
https: //www.hellowork.go.jp/

全国のハローワークが受理した求人情報のうち、求人企業が当ホームページに掲載を希望している求人を検索することができます。

☑事業所名や電話番号を閲覧できます。　☑求職登録すると閲覧できる情報が増えます。

福島労働局からのお知らせ

富岡町に労働基準監督署とハローワークが戻りました

平成30年3月26日(月)から
富岡労働基準監督署とハローワーク富岡が富岡町(震災前の所在地)で業務を再開しました

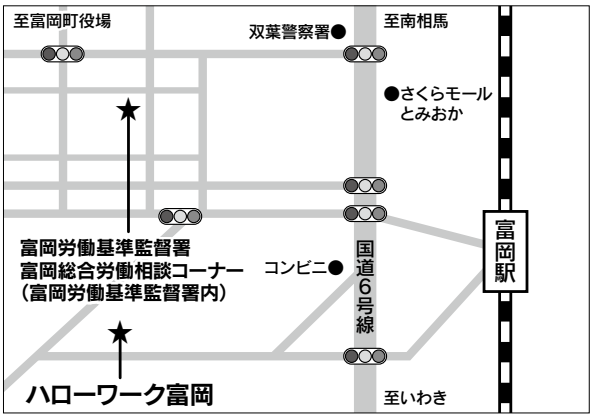
□ 富岡労働基準監督署

〒979-1112 双葉郡富岡町中央2丁目104
☎0240-22-3003(代表)

□ ハローワーク富岡

〒979-1111 双葉郡富岡町大字小浜字大膳町109-1
☎0240-22-3121(代表)

※広野サテライトは3月26日以降も継続していますが、
雇用保険失業給付認定業務はハローワーク富岡で行います。



詳細は福島労働局ホームページをご覧ください。【お問い合わせ先】福島労働局総務課 ☎024-536-4601

求人アプリ スタンバイに 福島県の求人が大集合!

U・Iターン 実績多数!

地図で探せる!

豊富な求人情報!

あなたに合った仕事が届く

スマホから応募できる!

- 田村市
- 南相馬市
- 川俣町
- 広野町
- 楢葉町
- 富岡町
- 川内村
- 大熊町
- 双葉町
- 浪江町
- 葛尾村
- 飯舘村

福島県内で避難指示等の対象となった被災12市町村の事業者等の求人情報を特集し、地域内外の求職者の方々とのマッチングを支援します。

アプリを使わず探すなら!▶▶

地図で仕事が探せる求人サイト スタンバイ

スタンバイ 福島 検索

是非QRコードにスマホ・携帯をかざして求人情報をチェックしてください。

https://stanby.jp ▶TOPページ ▶「ふくしまで働こう! 復興エリア求人特集」をクリック

引越し代等をサポート! 就職・転職にあたり転居を伴う方には **転居支援制度があります!** ※制度の利用には条件がございます。詳しくはご相談ください。

経済産業省委託事業 福島求人支援チーム応募事務局
事業運営会社:株式会社ビズリーチ
協力:厚生労働省福島労働局、公益社団法人 福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)

0120-910-195 受付 株ビズリーチ 平日10~17時
E-mail info.fukushima@bizreach.co.jp (24時間受付)

「こんな求人ない?」「履歴書の書き方が分からない」「実際に面接に行ってみたい」など、まずは応募事務局へお気軽にお問合せください!